

事業概要 第11号

平成20年度



富山県中央植物園

目次

平成 20 年度事業概要

I 庶務		V 友の会・ボランティアの活動	
1 沿革	1	1 事業	21
2 整備概要	1	2 部会の活動	22
3 利用案内	2		
4 組織	3	VI 参考資料	
		1 施設概要	24
II 植物管理・資料収集事業		2 施設平面図	25
1 植物に関する標本、文献等の収集	4	3 整備事業費	26
2 植物の収集	4	4 利用統計	26
3 展示植物等の栽培管理及び展示種数	6	5 自主事業の実施状況	27
		VII 栽培記録	
III 調査研究事業		1 平成 20 年度に初めて開花した植物	28
1 研究体制	7		
2 研究課題	7		
3 外部資金導入による調査研究	7		
4 他団体等との共同研究	7		
5 平成 20 年度研究発表	8		
6 研究報告 14 号	8		
7 著書・論文・学会発表等	8		
IV 教育普及事業			
1 催事記録	10		
2 各種報告書等の出版による普及・広報活動	13		
3 リファレンス及び研修生、実習生等の受け入れ	15		
4 植物公園ネットワークの中核施設としてのセンター的業務	19		
5 園内外の植物園との交流に関する業務	20		

愛称 ドリアス

「ドリアス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名 (*Dryas*) でもある。

シンボルマーク (右図)

平成 10 年 2 月、公募によって決定。

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



I 庶務

1 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。平成14年9月10日には憩いの場や学習の場として多目的に利用可能なドリアスホールの建設に着工し、平成15年3月14日に完成した。

2 整備概要

昭和58年4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成2年3月	富山県中央植物園設計競技
平成2年8月	基本設計
平成3年5月	造成工事起工式
平成5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成7年9月	建築工事定礎式
平成8年4月	全面開園(展示温室公開)
平成8年5月	中国科学院昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工(完成平成12年2月)
平成12年10月	中国科学院昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年4月	開園後の入園者50万人達成
平成14年9月	ドリアスホール(多目的小ホール)着工(完成平成15年3月)
平成20年4月	開園後の入園者100万人達成

(1) 所在地	富山県富山市婦中町上轡田42		
(2) 敷地面積	24.5ha		
(3) 主要施設	・管理研修棟	1棟	1,310㎡
	・展示温室(熱帯雨林温室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟	2,713㎡
	・栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室 他)	5棟	1,077㎡
	・サンライトホール・エネルギー棟	1棟	1,614㎡
	・ドリアスホール	1棟	155㎡
(4) 栽培植物	約4,700種類、98,278本(株) (※種類数は重複分を除いた数)		
	・屋外展示園	約2,411種類	
	・展示温室内	約1,245種類	
	・栽培温室、圃場	約3,100種類	

(5) 整備期間および事業費

期間	整備内容	事業費(百万円)	備考
平成元年～7年度	施設整備、植栽等	9,242	地域総合整備事業債(ふるさとづくり事業)
平成10年度～11年度	雲南温室	204	ふるさと環境整備事業
平成14年度	多目的小ホール(ドリアスホール)	40	木材産業経営革新公共施設等整備事業

3 利用案内(平成20年4月1日現在)

- (1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
 冬季(11月～1月) 午前9時～午後4時30分(入園は午後4時まで)
- (2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合は開園)および12月28日～1月4日
- (3) 入園料

区分	個人(12月～2月)	団体(20人以上)
大人	600円(400円)	480円(320円)
小人(高校生以下)	通年無料	—

●入園料等取扱要領(全額免除)

- ①幼稚園、小中高校等の引率者が教育活動または社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ②児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ③身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ④療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥サクラ観賞日に入園するとき。

(平成5年9月制定、平成14年3月28日改正、平成17年4月1日改正)

(4) 交通機関

●バス利用

- ・富山地鉄バス

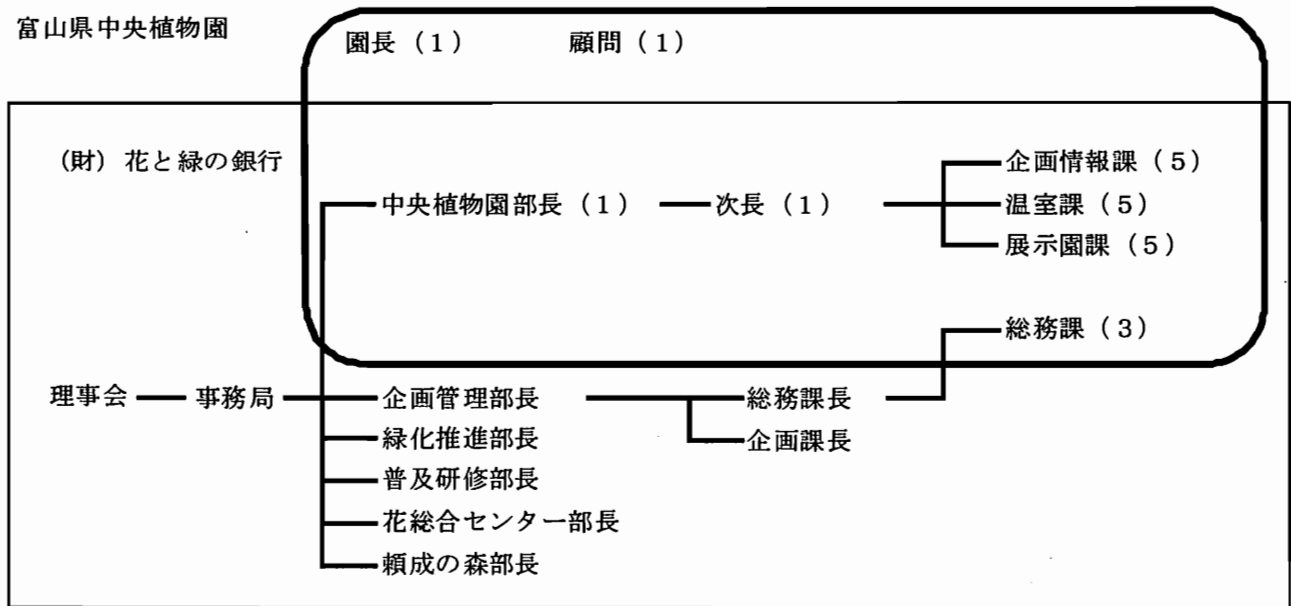
JR富山駅前6番乗場 「ファボーレ経由萩の島循環線」
 中央植物園口停留所下車、徒歩約12分

●自動車利用

- ・富山市中心部より約15分
- ・北陸自動車道富山インターより婦中大橋経由約15分
- ・JR速星駅より約8分

4 組織

(1) 組織図



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	内村悦三
顧問	黒川 道

(財)花と緑の銀行 中央植物園部

部長 (温室課長兼務)	加藤治好	県派遣職員(主幹)
次長 (展示園課長兼務)	富永宣宏	県派遣職員(主幹)
企画情報課	課長 中田政司 主任研究員 神戸敏成 主任 吉田めぐみ 主任 大原隆明 主任 志内利明	県派遣職員(副主任研究員) 県派遣職員(主任研究員)
温室課	副主任研究員 塩谷佳和 主任 橋屋 誠 主任 兼本 正 技師 花島宏奈 業務技師 栗林信夫	県派遣職員(副主任研究員) 県派遣職員
展示園課	副主任研究員 山下寿之 主任 高橋一臣 専門員 西村正史 業務技師 桐林浩二 業務技師 浅野 豊	県派遣職員(副主任研究員)

(財)花と緑の銀行 企画管理部

総務課	主事	恒川利一
(一部)	嘱託	高木真由美
	嘱託	武田尚子

II 植物管理・資料収集事業

1 植物に関する標本、文献等の収集

(1) 標本

単位：点

区分		平成3～19年度	平成20年度
収集標本	新規の標本作成	40,856	1,250
	収集植物の標本作成		210
	富山県植物誌改訂の基礎資料としての標本作成		2,001
寄贈標本	一般または専門家からの寄贈標本の受け入れ	33,962	3,398
	国内外の研究機関との標本交換		0
	標本の同定、再同定		3,500
購入標本		3,000	0
計		77,818	10,359

(2) 文献

単位：冊

区分	平成3～19年度	平成20年度	合計
購入	10,583	351	10,934
寄贈・交換	12,355	495	12,850
計	22,938	846	23,784

(3) 植物画資料

年月	点数	導入先
7.6	1,743 (理科図集、日本椿集原画など)	二口善雄寄贈
18.7	302 (平凡社刊 原色図譜「園芸植物」原画など)	二口善雄寄贈

2 植物の収集

(1) 平成21年度新規導入植物

①個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物	数量
20.5.14	高岡農林振興センター 林 功	カジカエデ	1株
20.8.29	日本新薬(株) 山科植物資料館	コルクガシ、テッポウユリ他	若干
20.10.7	福井総合植物園	インドボダイジュ、アキギリ	若干

②植物園協会種苗交換による導入

年月日	導入先	導入植物
21.3.12	日本新薬株式会社山科植物資料館	アリノスダマ苗10株、キソウテンガイ苗20株

③種子交換による導入

月日	導入先	導入植物
20.2.9	ベルベデーレ高山植物園 (オーストリア)	Leontopodium alpinum など 25 種
20.3.3	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	Acaena alpina など 13 種
20.3.3	ブザンソン大学植物園 (フランス)	Heracleum sphondylium など 15 種
20.3.6	ベルリンーフンボルト大学植物園 (ドイツ)	Ilex aquifolium など 34 種
20.3.24	ロシア科学アカデミー極東支部植物園 (ロシア)	Dendranthema coreanum など 17 種
20.3.27	ゲーテ大学植物園 (ドイツ)	Allium senescens など 18 種
20.3.28	ラトビア大学植物園 (ラトビア)	Pseudotsuga menziesii など 20 種
20.4.24	ターリン植物園 (エストニア)	Pinus mugo ssp. Pumilio など 30 種
20.6.11	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	Dryas octopetala など 49 種
20.6.15	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	Juniperus horizontalis など 19 種
20.6.15	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	Juniperus chinensis など 19 種
20.6.27	高知県立牧野植物園	ジョロウホトトギスなど 4 種
20.7.23	リヨン植物園 (フランス)	Begonia fenicis など 25 種
20.9.16	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	Bowlesia incana など 24 種
20.10.30	マラカイ大学植物園 (ベネズエラ)	Guaiacum officinale 1 種
20.10.30	ボゴール植物園 (インドネシア)	Alsomitra macrocarpa 1 種

④自生地採集による導入 無し

(2) 平成 21 年度分譲植物

①個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
20.7.28	国立大学法人富山大学和漢医薬学総合研究所 佐竹元吉	アジサイ、ガクアジサイ他	若干	研究用
20.10.6	クラシエ製薬株式会社評価・分析センター 棚木有美	シャクヤク、ヤマシャクヤク、ボタン	若干	研究用
20.10.9	東野尻幼稚園	落葉樹各種	1 箱	教材用
20.10.25	西部森林組合 金原理明	ヤマザクラ、エノキ他	若干	教材用

②植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
20.4.7	財団法人海洋博覧会記念公園	パラグアイオオオニバス種子	若干	展示用
20.4.7	佐世保市亜熱帯動植物園	オニバス種子	若干	展示用
20.5.19	富山大学薬学部附属薬用植物園 藤野廣春	グネツム	5 本	展示用
20.5.27	篠川昭子	クワ (マグワ、ヤマグワ)	若干	教材用
20.5.29	財団法人海洋博覧会記念公園	ロングウッドオオオニバス	3 株	展示用
20.5.29	夢の島熱帯植物館	ロングウッドオオオニバス	3 株	展示用
20.5.29	福井総合植物園	ロングウッドオオオニバス	3 株	展示用
20.5.29	宇治市植物公園	ロングウッドオオオニバス	3 株	展示用
20.5.29	フラワーパークかごしま	ロングウッドオオオニバス	3 株	展示用
21.2.15	宝塚ガーデンフィールズ	パラグアイオオオニバス種子	若干	展示用

③種子交換による分譲

月日	分譲先	分譲植物
20.1.6	ラトビア大学植物園 (ラトビア)	ラショウモンカズラなど 15 種
20.1.6	南シベリア植物園 (ロシア)	ハンカイソウなど 31 種
20.1.6	ボゴール植物園 (インドネシア)	リョウブなど 4 種
20.1.6	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	キッコウハグマなど 9 種
20.1.6	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	ヤナギバルイラソウなど 9 種
20.1.6	エジンバラ王立植物園 (スコットランド)	ホツツジなど 5 種
20.1.6	リヨン植物園 (フランス)	アカイタヤなど 11 種
20.1.6	西双版納熱帯植物園 (中国)	ヤマウルシなど 14 種
20.1.6	中央シベリア植物園 (ロシア)	ユキグニツバツツジなど 6 種
20.1.6	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	ヤマモミジなど 16 種
20.1.6	高知県立牧野植物園	タチアザミなど 4 種
20.1.6	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	タニウツギなど 6 種
20.1.6	クォリーヒル植物園 (アメリカ)	ツリフネソウなど 10 種
20.1.6	ターリン植物園 (エストニア)	ミズメなど 6 種
20.1.6	de Jardin d'Ode 植物園 (フランス)	トウカエデなど 18 種
20.1.6	La Rambertia 植物園 (フランス)	センボンヤリなど 6 種
20.1.6	Armand David 植物園 (フランス)	オガラバナなど 12 種
20.1.6	ゲーテ大学植物園 (ドイツ)	ツルマメなど 3 種
20.1.6	ポリーヒル樹木園 (アメリカ)	マルバマンサクなど 4 種
20.1.6	台湾植物園 (中国)	シラキなど 4 種
20.1.6	Mr. Stig Froberg, Fortum Oy (フィンランド)	ツリガネニンジンなど 10 種

3 展示植物等の栽培管理及び展示種数など

区画	ゾーン	代表的な植物			現況 (H20.3.31)	
					種類数	個体数
展示温室	熱帯雨林温室	ビヨウタコノキ、リュウキュウイトバショウ			450 種	1,500 株
	雲南温室	トウツバキ、トガリバツバキ			85 種	200 株
	熱帯果樹室	マンゴー、バナナ、パパイヤなど			183 種	1,300 株
	ラン温室	フラグミペディウム等、			238 種	2,200 株
	高山植物室	アサギリソウ、クリスマスローズ			289 種	900 株
区画	ゾーン	品種区分	種類数	個体数	現況 (H20.3.31)	
					種類数	個体数
屋外展示園	世界のゾーン	ボタン類	84 種	263 株	1,339 種	33,940 株
		シャクヤク類	34 種	192 株		
		クレマチス類	164 種	199 株		
	日本のゾーン	サクラ類	100 種	404 株	1,072 種	25,838 株
		ウメ類	53 種	115 株		
管理区域	栽培温室、栽培圃場、駐車場、入口広場 他				3,100 種	32,400 株
計					4,700 種	98,278 株

Ⅲ 調査研究事業

1 研究体制（平成 20 年 4 月 1 日）

氏名	職	担当分野・専門分野
内村 悦三	園長	森林生態学、世界のタケ類の生態と栽培、熱帯林の修復、アグロフォレストリー・システムの構築
黒川 道	顧問	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員 (企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
塩谷 佳和	副主幹研究員	園芸植物
山下 寿之	副主幹研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類（キノコ）、地域フロラ
吉田めぐみ	主任	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	主任	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	主任	植物分類学、ササ属
大原 隆明	主任	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	主任	植物分類学、トカラ列島フロラ、溪流沿い植物

2 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 絶滅危惧植物の実態調査及び保全に関する研究
- (3) 収集植物の特性評価と利用に関する研究
- (4) 中国科学院昆明植物研究所との共同研究

3 平成 20 年度外部資金導入による調査研究

助成名	助成対象	助成課題
財団法人国際花と緑の博覧会記念協会研究助成・継続	財団法人花と緑の銀行 理事長石井隆一 (代表)	トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究

4 他団体等との共同研究

テーマ	共同研究者
トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究	中国科学院昆明植物研究所
中国産ベゴニア属植物の種分化と保全に関する共同研究	中国科学院昆明植物研究所
アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究	中国科学院昆明植物研究所
水田ビオトープの植物相と植生の変化	富山県立大学
立山黒部アルペンルートにおける外来植物等調査	立山自然保護センター
植物園内（温室を含む）に生息するアリ類の種類と分布に関する研究	日本蟻類研究会 佐藤武司
絶滅危惧種コアニチドリの保全に関する研究	利賀ダム工事事務所

5 平成 20 年度研究発表「植物園を支える研究活動 (13)」

発表者	テーマ
中田 政司	黒部市で発見されたセンニンモの謎 ワカサハマギク (準絶滅危惧) 個体群の 30 年間での変化
神戸 敏成	異なる波長帯光の照射がラン科植物 <i>Bletilla ochracea</i> の完熟種子の非共生発芽およびその後の生長に及ぼす影響
吉田めぐみ	立山地域における特定植物群落 5 地点の 30 年後の変化と他地域との比較
大原 隆明	富山県で新たに生育が確認された植物 (12)
志内 利明	野生トウツバキの花形の変異
塩谷 佳和	ゲッカビジンの開花予想日を算定する試み
橋屋 誠	富山県で記録されたきのこ (13)
兼本 正	パラグアイオオオニバスの開花について サトイモ科タイモとタロイモの栽培について 富山県中央植物園における植物季節現象
山下 寿之	2007 年に立山に観光客が持ち込んだ種子
高橋 一臣	葉の表皮構造からみた富山県産“オクヤマザサ類”の再検討

6 研究報告 14 号 (平成 21 年 3 月 28 日発行)

区分	表題	掲載頁
Articles (原著)		
吉田めぐみ	立山地域における特定植物群落の種組成の特徴—クロベ群落、タテヤマキンバイ群落など 5 群落について	p.1-13
Note (短報)		
志内利明	広島県廿日市市に生育するヨシノアザミの両性花株と雌株の形態分化	p.15-19
山下寿之・志内利明・王 仲朗・王 霜・魯 元学・管 開雲	中国雲南省のトウツバキ <i>Camellia reticulata</i> 自生地における植生	p.21-27
Tadashi Kanemoto	Cytological note on <i>Anredera cordifolia</i> (Basellaceae) naturalized in Okinawa Island (沖縄島に帰化しているアカザカズラ (ツルムラサキ科) の細胞学的研究)	p.29-32
Toshinari Godo, Tomohisa Yukawa & Kazumitsu Miyoshi	The effect of BA, illumination and temperature on asymbiotic seed germination of four Japanese endangered taxa of <i>Calanthe</i> (Orchidaceae) (日本原産絶滅危惧植物であるエビネ属 4 分類群の非共生発芽に BA 及び光、培養温度が及ぼす影響)	p.33-40
Miscellaneous (資料)		
Hongzhe Li & Masashi Nakata	Chromosome numbers of seven iridaceous taxa from Toyama Prefecture, central Japan (富山県産アヤメ科植物 7 分類群の染色体数)	p.41-46
山下寿之・志内利明・王 仲朗・王 霜・魯 元学・管 開雲	中国雲南省に生育するトウツバキの記録—2008 年現地調査から	p.47-56
大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会	富山県フロラ資料 (13)	p.57-71
橋屋 誠	富山県高等菌類資料 (7)	p.73-80

7 著書・論文・学会発表等

内村悦三

- ・竹の基礎科学と高度利用技術. シーエムシー出版.(分担執筆).

中田政司

- ・個体群が拡大したノリ面緑化現場の外来シマカンギク(キク科). *Bunrui* 9: 55-59. (2009). (共著).
- ・ミセバヤ, エッチュウミセバヤ. 農文協(編). 最新農業技術 花卉 vol.1 pp.331-334. 農文協. (2009).
- ・富山市で採集されていたセンニンモ. *富山の生物* 48: 51-54. (2009). (共著).

- ・NBRP(ナショナルバイオリソースプロジェクト)紹介 広義キク属—ゲノム攪乱とリソースの役割—. *Biophilia* 5: 55-60. (2009). (共著).
- ・準絶滅危惧種ワカサハマギクの個体群は30年間でどう変化したか. 日本植物分類学会第8回大会(仙台). (2009).

山下寿之

- ・富山県立大学水田跡地のビオトープに関する調査・研究 -1: ビオトープ化初期の植生と植物相-. 富山県立大学紀要 19:49-57. (2009). (共著).
- ・立山自然保護センターならびに室堂バスターミナルで採取した靴底土から発芽した植物. 立山センター立山自然保護センター業務報告書 9:48-49. (2009). (共著).
- ・立山自然保護センターで採取した靴底土から発芽した植物. 立山ルート緑化研究委員会年報 9:1-4. (立山ルート緑化研究委員会発行). (2008). (共著).
- ・中国雲南省のトウツバキ *Camellia reticulata* 自生地における植生. 植生学会第13回大会 (於 東京農工大). (2008). (共同発表).

神戸敏成

- ・Property, micropropagation and heavy-ion beam breeding of triploid Senno, a traditional ornamental plant. In 'Floriculture, Ornamental and Plant Biotechnology' (J. A. Teixeira da Silva ad.) Vol. 4, pp257-265, Global Science Books, UK. (2008). (共著).
- ・Possibility for selective accumulation of polyphenolics in tissue cultures of Senno (*Lychnis senno* Siebold. Et Zucc.). *Natural Product Communications* 4: 377-380. (2009). (共著).
- ・Cryopreservation and low-temperature storage of seeds of *Phaius tankervilleae*. *Plant Biotechnol Rep* 3:103-109. (2009). (共著).
- ・異なる波長帯光の照射がラン科植物 *Bletilla ochracea* 完熟種子の非共生発芽およびその後の成長に及ぼす影響. 園芸学会平成20年度秋季大会. (2008). (共同発表).
- ・コルチカム科花卉園芸植物における胚珠培養による種間および属間雑種の作出 (第8報) 4倍体グロリオサ 'マロンゴールド' とリットニアおよびサンダーソニア間の属間雑種の形質調査. 園芸学会平成20年度秋季大会. (2008). (共同発表).
- ・ラン科希少種の人工増殖に関する研究5.エビネ属キンセイランの非共生培養法による完熟種子の発芽とプロトコーム形成. 園芸学会平成20年度秋季大会. (2008). (共同発表).
- ・培養物の紡錘糸形成阻害剤処理による3倍体センノウ (*Lychnis senno*) の染色体倍加. 園芸学会平成20年度秋季大会. (2008). (共同発表).
- ・マツムラソウ (*Titanotrichum oldhamii*) における葉外植体からの効率的な植物体再生系の確立. 園芸学会平成20年度秋季大会. (2008). (共同発表).
- ・The effects of wavelength of light on asymbiotic germination of mature seeds and seedling growth of *Bletilla ochracea* (Orchidaceae). 第4回国際シンポジウム・アジアのランの多様性と保全. (2008). (共同発表).
- ・薬用植物アカマツリの組織培養条件の検討. 園芸学会北陸支部会. (2008). (共同発表).

橋屋 誠

- ・2007年度日本菌学会菌類採集会採集リスト. 日本菌学会ニュースレター 2008-2 (4月) P.1-5. (2008).
- ・2008年度日本菌学会菌類観察会観察菌類目録. 日本菌学会ニュースレター 2009-2 (3月) P.4-7. (2009). (共著).

兼本 正

- ・Flavone glucuronides from *Plantago hakusanensis* endemic to Japan. *Biochemical Systematics and Ecology*. 第36巻. 815-816. (共著).
- ・北陸地方でパラグアイオオニバスを大きく育てるための栽培条件. 日本植物園協会第43回大会研究発表. (2008).

高橋一臣

- ・タケ・ササ類の学名入門 その1 分類群のランクと学名の構成. *Bamboo Voice* No.29. (2008).

大原隆明

- ・サクラハンドブック. 文一総合出版. (2009).
- ・高岡古城公園に植栽されているコシノヒガンの独自性. 日本桜学会第3回研究発表会 (玉川大学). (2008).
- ・富山県で栽培されている 'ジュウガツザクラ' の多様性. 日本桜学会第3回研究発表会 (玉川大学). (2008). (共同発表).
- ・富山県上市町で見出された菊咲き性のサクラの一新品種. 日本桜学会第3回研究発表会 (玉川大学). (2008). (共同発表).

志内利明

- ・中国雲南省のトウツバキ *Camellia reticulata* 自生地における植生. 植生学会第13回大会 (於 東京農工大). (2008). (共同発表).

IV 教育普及事業

1 平成 20 年度催事記録

(1) 特別開園

催事名	開催日	内容	参加者数
ソメイヨシノと夜桜観賞 (無料開園)	4/7～10	ソメイヨシノの満開日にあわせ無料開園し、開園時間を午後 9 時半まで延長し夜桜をライトアップした。	25,367
ゲッカビジン観賞	7/18～19	一晩だけ咲くゲッカビジンの開花に合わせて夜間開園を実施した。	1,889
お盆の開園時間延長	8/13～16	お盆の期間中開園時間を 18 時まで延長した。	824
サマーナイトフェスタ	8/23～24	夜の温室植物の観賞とコンサートを開催した。	755
クリスマスフェスタ	12/13～14	クリスマスリースづくりやコンサートを開催し、午後 7 時まで開園時間を延長した。	613
計			29,448

(2) コンサート

催事名	開催日	内容	参加者数
ドリアスコンサート	4/12	富山ヴォーカル・ソレイユによるコンサートを開催した。	延べ 約 120
水辺のコンサート	8/16	ユニット amare (ヴァイオリン野崎弘通、ピアノ碓井綾子) によるコンサートを開催した。	60
サマーナイトフェスタ ミニコンサート	8/23	プロダンサー滝沢 恵氏とプラザ・アレグレのメンバーによるフラメンコステージを開催した。	300
クリスマスミニコンサート	12/13～14	シンセサイザー奏者滝沢 卓氏、富山古楽協会、ゴスペルサークル T-GRACE-CHOIR によるコンサートを開催した。	61
計			541

(3) 企画展

催事名	開催日	内容	参加者数
桜の新品種‘氷見久津呂 (くづろ) 菊桜’	4/4～30	富山県で新たに確認された桜の新品種‘氷見久津呂菊桜’を紹介した。	35,418
ハンギングバスケットコン テスト	4/20～5/7	講習会作品の展示とコンテスト。日本ハンギングバスケット協会との共同開催で行った。	8,026
第 29 回 春のラン展	5/3～5	富山県蘭協会と共催による春咲きランの展示を行った。	2,348
サツキ展	6/6～8	地元愛好会「寿さつき会」のサツキ盆栽を展示した。	720
私の植物写真展	6/20～7/16	講習会「植物写真教室」の作品と一般公募の作品を展示した。	3,410
食虫植物展	7/18～30	ウツボカズラやサラセニアなどの代表的な食虫植物を展示した。	3,132
夏休み特別企画 親子体験コーナー	7/18～8/31	顕微鏡観察や木の実などを使った工作コーナーを設置し、自由に体験できるようにした。	延べ 1,549
水生植物展	7/25～10/1	熱帯スイレン、オオオニバスをはじめとする水生植物を展示した。	8,645
夏休み特別企画 オオオ ニバスに乗ってみよう	①8/9 ②8/16	児童たちが巨大なオオオニバスの葉に乗るイベントを開催した。	①32 ②29

催事名	開催日	内容	参加者数
植物画講習会	①5/17～18 ②10/18～19	植物画（ボタニカルアート）の講習を行った。 講師：豊田路子氏、岡田宗男氏	①49 ②36
植物写真教室	6/1	富山県写真家協会による講習指導を行った。また作品は企画展に展示した。 講師：富山県写真家協会会員	64
デジカメ講座	6/22	富山県 IT センターとの共催でデジカメを使った植物撮影の講習会を行った。	10
第16回TOYAMA 植物フォーラム 「水草の栽培と保全」	7/12	5名のパネリストを迎え、水草の栽培や絶滅危惧種が多い水生植物の保全についてフォーラムを開催した。 講師：城山 豊氏（草津市立水生植物公園みずの森）、田中法生氏（国立科学博物館筑波実験植物園）、橋本 永氏（新潟県立植物園）、中川定一氏（氷見市）、岡田博氏（大阪市立大学理学部附属植物園）、中田政司	54
水草を使った実験観察	①7/27 ②8/2	顕微鏡を使ったオオカナダモなどの水草の形態観察と光合成実験を行なった。	①5 ②4
水草ビオトープの実際と問題点	7/29	ビオトープ作りに用いる水草の現状や、作る際の注意点及び教育への利用方法について講義を行なった。 講師：倉重祐二氏（新潟県立植物園）	25
フラワーアレンジ教室	9/13、14	（社）フラワーデザイナー協会富山県支部会員によるフラワーアレンジメントの教室を開催した。	62
水草の名前を調べよう	9/23	用水路や小河川での水草の調査・採取方法を講習し、採取した植物の標本作製を行った。	5
花の折り紙教室	11/22	花の折り紙教室を開催した。 講師：塩谷佳和	6
20年度研究発表会	2/1	植物園職員が研究成果を発表した。	42
計			945

(5) 月例行事

催事名	開催日	内容	参加者数
日曜植物案内	毎月第1・2日曜日	ボランティアと職員が園内の植物を解説してまわった。	277
植物園オリエンテーリング	4～10月の第3日曜日	植物についてのクイズを解きながら園内を回るゲームを実施した。	140
計			417

(6) 植物園クラブ

催事名	開催日	内容	参加者数
ペットボトルのハンギングバスケットづくり	5/10、11	母の日のプレゼントとして簡単なハンギングバスケットを作った。	102
植物バイオの実験	5/17、25	植物の組織培養の基礎について実習した。	8

催事名	開催日	内容	参加者数
スイレンフォト・お絵かきコンテスト	8/29～9/10	スイレンの写真と絵画の作品を公募して展示した。	1,182
フラワーデザイン展富山2008	9/13～15	(社)フラワーデザイナー協会富山県支部との共催で開催した。	1,263
折り紙植物園	10/3～11/5	県内外の折り紙愛好家から募集した、植物を題材とした折り紙作品を展示した。	5,211
第2回秋のラン展	11/21～23	富山県蘭協会との共催でカンランや秋咲き洋ランの展示を行った。	1,337
クリスマスの植物	11/28～12/24	クリスマスツリーとクリスマスにちなんだ植物を展示した。	2,115
干支にちなんだ植物展	12/19～1/28	平成20年の干支「子」と21年の干支「丑」にちなんだ植物を展示した。	2,111
平成20年度研究発表展	1/30～2/18	植物園で行われている研究の発表及び展示を行った。	1,723
花と緑のフェスティバル	2/20～22	コンテナガーデンコンテストや各種講習会、温室案内等を行った。	4,512
第37回蘭まつり大会	3/6～8	富山県蘭協会と共催で洋ランや東洋ランなどを展示した。また、ランの栽培講習会や即売を行った。	5,464
コシノヒガンザクラ —高岡が育んだ桜の文化財	3/13～4/29	高岡市開町400年にあわせ高岡古城公園に伝わるコシノヒガンザクラについて紹介した。	3/31まで 1,862
計			90,089

(4) 講座、講演会

催事名	開催日	内容	参加者数
桜の新品種‘氷見久津呂(くづろ) 菊桜’	4/29	富山県で新たに確認された桜の新品種‘氷見久津呂菊桜’について講演を行なった。 講師：大原隆明	35
ハンギングバスケット講習会	4/19	ハンギングバスケット作りを行なった。作品はキャノピーに設置しコンテストを開催した。 講師：飛世裕香氏(ハンギングバスケット協会富山支部)	25
県民植物学講座 ①植物季節と地球温暖化 ②アメリカシロヒトリの生態と防除 ③野生動物の生態と植物 ④富山県のナラ枯れの現状と対策 ⑤植物の耐寒性と温暖化	①4/28 ②5/25 ③9/21 ④10/25 ⑤12/6	植物園を広く県民に知ってもらうことを目的に5回の講座を開催した。 講師：①篠原 学氏(富山地方気象台)、②西村正史、③赤座久明氏(県自然保護課)、④西村正史、⑤和田直也氏(富山大学)	①34 ②64 ③37 ④28 ⑤27
栽培講習会 ①ランの植え替えと管理 ②ハスとスイレンの栽培 ③ランの植え替えと管理 ④ランの植え替えと管理	①5/4、5 ②6/22 ③11/22、23 ④3/7、8	植物の栽培に関する知識を深めてもらうことを目的に4回の講習会を開催した。 講師：①富山県蘭協会会員、②塩谷佳和、③富山県蘭協会会員、④富山県蘭協会会員	① 53 ② 18 ③ 76 ④154

催事名	開催日	内容	参加者数
パパイヤを育てよう	5/24、6/7、6/21、 7/5、7/19、8/2、 8/16、8/30、9/13、 9/27、10/11、 10/12、10/25、 10/27、11/15	パパイヤ苗の植え付け、生育作業、測定及び実の収穫を行なった。	延べ370
七夕飾りを作ろう	6/28、29	折り紙で七夕飾りを作り、ホールのササに展示した。	29
食虫植物を育てよう	8/1、2	食虫植物の植替えと育て方を講習した。	101
夏休み植物教室	8/3、5、8	園内で植物を採集し、標本づくりと木の実や枝を使った工作を行った。	140
顕微鏡・電子顕微鏡で植物を観察しよう	8/11、12	顕微鏡と電子顕微鏡で花粉や葉を観察した。	33
ソテツの虫かごづくり	8/13、14	ソテツの葉で虫かごをつくり、木の実で昆虫づくりを行った。	88
スイレンのお絵かき	8/16	熱帯スイレン、オオオニバスの絵を描いた。 講師：大谷弓子氏	53
草木染めをしよう	8/23、24	アイの葉を使ってハンカチを染めた。	86
どんぐりで遊ぼう	①10/11、12 ②11/1、2	園内でどんぐりを拾い、工作をした。	①55 ②88
カボチャのチョウチンづくり	10/25、26	ハロウィンにちなんだカボチャのチョウチン作りを行った。	210
クリスマス飾りを作ろう	11/29、30	フジヤクズのつる、マツボックリ、イイギリの実を使ってクリスマスリースを作った。 講師：増山たか子氏	109
飛ぶタネの模型づくり	3/28、29	ラワンやマツなど飛ぶしくみを持ったタネの模型作りをした。	26
計			1,498

2 各種報告書等の出版による普及・広報活動

(1) 印刷・出版

出版物	規格	内容
季刊広報誌 「植物園だより」	A4版6頁カラー 季刊 3,000部	2008年7月号(No.48) 2008年10月号(No.49) 2009年1月号(No.50) 2009年4月号(No.51)
事業記録誌 「事業概要」	A4版30P白黒 年1回300部	第10号(平成19年度)
研究報告書	B5版80P白黒一部カラー 年1回600部	14号
リーフレット	A3版六折カラー	—
見頃植物のお知らせ	A4版赤黒2色刷り	—

(2) 広報実績

- ①マスコミへの情報提供 34件
- ②新聞掲載 150件
- ③広告掲載 10件

- ・パノラマキトキト富山新聞 北国、富山新聞 (4/12 発行)
- ・春の観光特集 読売新聞 (4/26 掲載)
- ・夏休みカレンダー企画 北日本新聞 (7/21 掲載)
- ・富山ふれあいバスツアー 北国新聞 (10/19 掲載) 11/21 実施 71名
- ・四季の散歩道 北日本新聞 (1/1 掲載)
- ・富山ルネッサンス特集 富山新聞 (1/1 掲載)
- ・「初夢企画」年始テレビスポット 富山テレビ (1/1~1/7)
- ・るるぶフリー富山 春・夏号 (3/31 発行)
- ・全国椿サミット南砺大会広告 北日本新聞 (3/20 掲載)
- ・富山ふれあいバスツアー 北国新聞 (3/26 掲載) 4/24 実施 98名

④取材対応

媒体	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌等
件数 (件)	38	54	5	1

⑤ホームページ アクセス件数 30,755 件

⑥写真の提供

月日	提供先	内容
奇数月	富山県経営者協会	広報誌「富山経協」への表紙写真提供 Vol. 776 アジサイ Vol. 777 ホンカンゾウ Vol. 778 ハマギク Vol. 779 サクラ並木 Vol. 780 ミヤマガマズミの実 Vol. 781 ウメの品種「米良(めら)」
毎月	とやま経済月報	ホームページ用写真の提供

(3) 新聞、雑誌への寄稿

北陸中日新聞動物園植物園リポート

年月日	掲載テーマ	執筆者	年月日	掲載テーマ	執筆者
20.4.9	ソメイヨシノ	吉田めぐみ	10.15	キンモクセイ	塩谷佳和
4.23	ミズバショウ	志内利明	10.29	カリン	高橋一臣
5.14	ナノハナ	塩谷佳和	11.12	アメリカガキ	大原隆明
5.28	フランスバラ	大原隆明	11.26	ダイオウショウ	橋屋 誠
6.11	ナツボダイジュ	高橋一臣	12.10	ヒイラギモチ	中田政司
6.25	キレンゲショウマ	橋屋 誠	12.24	エアープランツ	兼本 正
7.9	食虫植物	兼本 正	21.1.14	ウシノシタ	高橋一臣
7.23	熱帯スイレン	兼本 正	1.21	シュンラン	神戸敏成
8.6	センノウ	神戸敏成	2.4	オオバクロモジ	山下寿之
8.20	イヌビワ	山下寿之	2.18	キバナサラカ	吉田めぐみ
9.3	フヨウ	中田政司	3.14	ヤハズカズラ	塩谷佳和
9.17	ゴバンノアシ	吉田めぐみ	3.18	ハリイヌナズナ	橋屋 誠
10.1	ツリフネソウ	志内利明			

3 リファレンス及び研修生、実習生等の受け入れ

(1) リファレンス (問い合わせ対応)

①年度別リファレンス (*は同定依頼のうちキノコ関係の内訳)

年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
総数	140	243	334	493	624	715	780	815	769	700	779	807	624
相談方法													
来園	65	84	118	179	258	268	301	376	364	311	374	372	298
電話	73	153	206	301	341	410	432	381	324	330	376	387	288
文書	2	6	9	13	25	37	47	58	81	59	38	48	38
質問内容													
同定	73	79	129	181	275	330	379	379	400	344	395	413	321
(キノ) *	(50)	(58)	(73)	(110)	(184)	(196)	(190)	(266)	(274)	(268)	(285)	(306)	(241)
園芸相談	25	73	103	159	178	208	217	186	188	188	211	192	157
その他	42	91	102	153	171	177	243	250	181	168	173	197	146
相談者													
一般	127	202	266	420	528	606	676	693	680	639	691	674	536
マスコミ	11	35	59	55	67	72	74	77	48	42	65	103	68
植物関係者	2	6	9	18	29	37	30	45	41	19	23	25	20

②公的団体等からの同定依頼

月日	提供先	内容
20.6.26.	富山県警	盗難植物の同定 (エケベリア属)
20.9.14	富山県八尾警察署	食中毒の原因植物の同定 (テンナンショウ属)
20.10.20.	高岡厚生センター	食中毒の原因きのこの同定 (ツキヨタケなど)
20.12.5	富山県中部厚生センター	県民から持ち込まれたきのこの同定 (エノキタケ)
20.12.16	高岡厚生センター氷見支所	県民から持ち込まれたきのこの同定 (エノキタケ)

(2) 社会教育・学校教育

①理数教育における地域型キャリア教育研究事業

開催日	学校名	内容	人数
20.6.24	黒部市三日市小学校3年生	「植物のつくり」講義と実習、オリエンテーリング	61
20.9.26	上市町立相ノ木小学校1~3年生	1・2年生「どんぐり工作」、3年生「植物のつくり」 実習、オリエンテーリング	113
20.10.1	上市町立上市中央小学校4年生	オリエンテーリング、温室めぐり	80
20.10.17	上市町立白萩西部小学校3~6年生	秋の木の実の観察	34
20.10.24	上市町立宮川小学校3~6年生	3・4年生「植物のつくり」講義、温室見学、 5・6年生顕微鏡観察、オリエンテーリング	173
20.10.28	上市町立陽南小学校3~4年生	オリエンテーリングと温室見学	24
20.10.28	黒部市立三日市小学校1年生	どんぐり拾いとどんぐり工作	51
計			543

②各種団体への教育支援活動

開催日	学校名	内容	人数
20.4.16	小矢部市立石動中学校 2 年生	「富山県の植物」ドリアス講義	26
20.5.1	富山市立大沢野小学校 3 年生	オリエンテーリング	116
20.6.8	富山市立速星小学校親子活動 5 年生	オリエンテーリング	203
20.6.24	富山市鶴坂小学校 5 年生	フローラルステージ花苗の植え付け作業	107
20.6.24	三日市小学校 3 年生	オリエンテーリング	61
20.6.28	富山市立熊野小学校親子活動 1 年生	オリエンテーリング	169
20.7.9	富山市立城山中学校 1 年生	植物と環境についての総合学習	17
20.8.6	高日附学園台児童クラブ	オリエンテーリング	24
20.9.19	立山町立立山中央小学校 4 年生	ドリアス講義「食虫植物」	120
20.9.26	相ノ木小学校 1～3 年生	オリエンテーリング	113
20.10.1	上市町立上市中央小学校 4 年生	オリエンテーリング	79
20.10.3	高岡市立中田小学校 2 年生	オリエンテーリングとどんぐり工作	59
20.10.7	富山市立山室中部小学校 2 年生	オリエンテーリングとどんぐり工作	140
20.10.20	射水市立中太閤山小学校 1 年生	どんぐり拾いとどんぐり工作	70
20.10.24	上市町立宮川小学校 3～6 年生	オリエンテーリング	171
20.10.27	上市公民館（上市中央小学校）3～6 年生	どんぐり拾いとどんぐり工作	51
20.10.28	上市町立陽南小学校 3・4 年生	オリエンテーリング	24
20.10.31	射水市立片口小学校 1 年生	オリエンテーリング	45
20.11.7	射水市立片口小学校 1 年生	どんぐり拾いとどんぐり工作	45
20.11.12	高岡市立南条小学校 4 年生	ドリアス講義「食虫植物」と温室見学	64
20.11.21	砺波市立庄川小学校 5 年生	オリエンテーリング	64
計			1,296

③ドリアス講義

開催日	団体名	人数
20.4.23	富山市婦中教育行政センター	20
20.4.28	みどり会	16
20.7.6	JA 東京あぐり田無緑化組合	23
20.7.8	富山市看護専門学校	42
20.7.9	富山市城山中学校	17
20.7.25	(社) 富山県児童クラブ連合会	174
20.7.28	富山市小学校教育研究会	29
20.8.10	深江児童クラブ	52
20.8.26	櫛田小学校同窓会	20
20.9.19	立山町立立山中央小学校	117
20.10.17	白萩西部小学校	34
20.10.29	ホビーラ協議会（氷見市働く婦人の家）友の会	33
20.11.7	大阪医薬品協会	12
21.2.10	適応指導教室	7
21.2.14	富山県自然解説員いちなな会	36
21.2.17	富山市婦中適応指導教室	5

開催日	団体名	人数
21.2.18	大島ふれあいサロン	25
21.3.20	ボーイスカウト小矢部第3団	32
計		694

④平成19年度行政バス

開催日	団体名	人数
20.10.21	富山市民バス	52

⑤団体来園

団体内訳	件数	人数
学校（教育活動）	223	11,913
施設・病院	39	1,133

⑥他機関への出展

開催日	催事名	内容	依頼者
21.3.20	第19回全国椿サミット 南砺大会	第19回全国椿サミット南砺大会への出展 「中国雲南省のトウツバキとその文化」 「二口善雄画伯のツバキ植物画」	第19回全国椿サミット南砺大会 実行委員会

(3) 他機関への講師（職員）派遣

期間	氏名	内容	依頼者
20.4.23	山下寿之	市民大学「婦負の国再発見」（婦負の植物）	富山市教育委員会
20.4.24	高橋一臣	ドリアス講義「富山の植物」	黒部市郵便局友の会
20.5.17	大原隆明	北陸のサクラ	日本樹木医会北陸支部
20.5.31	中田政司	基礎生物学セミナー（園内）	富山大学理学部生物学科
20.6.2	大原隆明	高岡のサクラ	県民カレッジ高岡地区センター
20.6.30	山下寿之 志内利明	みどりの里親事業にかかる担当者打ち合わせ	森林政策課
20.7.17	内村悦三	タケの生きざまとその利活用	大分県農林水産部
20.7.23	山下寿之	第1回立山外来種除去対策検討会	自然保護課
20.7.28	中田政司	総合的学習部会研修（園内）	富山市小学校教育研究会
20.8.2	吉田めぐみ	立山自然保護センター行事「室堂平を飾る植物たち」 講演と現地案内	富山県立山センター所長大沼進
20.9.13	内村悦三	タケを知って竹を活かす	NPO 法人 竹の学校
20.9.25	内村悦三	タケ林を守ろう ―タケの不思議な生態―	南砺市教育委員会
20.9.26	大原隆明	庄川地域のサクラ	砺波嵐山桜保存会
20.9.30	中田政司	野外実習「環境保全と植物園の役割」（園内）	富山大学理学部生物圏環境科学科
20.10.2	山下寿之	第2回立山外来種除去対策検討会	自然保護課
20.10.7～8	中田政司 山下寿之 神戸敏成 兼本 正 大原隆明 志内利明	日本植物園協会拠点園保全技術研修会（園内ほか）	（社）日本植物園協会

期間	氏名	内容	依頼者
20.10.11～13	橋屋 誠	日本菌学会フォーレ実行委員	日本菌学会
20.10.18	橋屋 誠	森林（もり）と環境保全に関する養成講座 講師	NPO 森林総合支援センター
20.10.19	橋屋 誠	「キノコ狩りと観察会」 講師	県民公園頼成の森
20.10.19	中田政司	行政視察（園内）	長岡市花いっぱいフェア実行委員、長岡市役所公園緑地課
20.10.26	橋屋 誠	「きのこ観察会」 講師	朝日町立福井総合植物園
20.11.5	浅野 豊	樹木の管理の基礎知識2	富山県花総合センター
20.11.15	浅野 豊	庭木の手入れ（剪定・雪囲い）	富山県花総合センター
21.1.31	内村悦三	モウソウチクの基礎とその活用について	きんたろう倶楽部
21.2.14	吉田めぐみ	ナチュラリストいちんなな会2月研修会「立山の植物」	富山県自然解説員いちんなな会会長長谷川覚
21.2.18	中田政司	公開講演会「ふるさとの絶滅危惧植物の保全に向けて-水辺の植物-」（大阪市内）	（社）日本植物園協会
21.2.19	内村悦三	竹の価値評価と今後の展望	大分県農林水産部
21.3.7	内村悦三	アフリカ東部の自然あれこれ	黒部市国際文化センター
21.3.14	内村悦三	知って得するタケ・ササのはなし～竹の魅力と活用～	茨城県自然博物館
21.3.25	山下寿之	第3回立山外来種除去対策検討会	自然保護課

（4）委員等の受託

氏名	内容	依頼者
内村悦三	日本植物園協会 評議員（H15～）	（社）日本植物園協会
内村悦三	日本植物園協会 研究発表委員（H15～）	（社）日本植物園協会
内村悦三	地球環境100人委員会 委員（H15～）	地球環境関西フォーラム
内村悦三	竹文化振興協会 常任理事（H15～）	竹文化振興協会
内村悦三	京都竹文化振興財団 評議員（H15～）	（財）京都竹文化振興財団
内村悦三	日本竹協会 副会長（H15～）	日本竹協会
内村悦三	竹資源活用フォーラム 会長（H15～）	竹資源活用フォーラム
内村悦三	日本林業同友会 技術参与（H15～）	日本林業同友会
内村悦三	Journal of Bamboo and Rattan 編集委員（H15～）	INBAR(在 北京・中国)
内村悦三	Bamboo Journal 編集委員長（H15～）	竹文化振興協会
内村悦三	富山市環境・バイオ委員会 委員（H16～）	富山市商工労働部工業政策課
内村悦三	富山市緑化審議会 会長（H17～）	富山市建設部公園緑地課
内村悦三	竹林楽校 校長（H20）	大分県農林水産部
内村悦三	とやまの竹資源利用・整備促進検討会 委員長（H20）	富山県農林水産部
中田政司	富山市文化財調査審議会委員(平成18年度～)	富山市
中田政司	ナショナルバイオリソースプロジェクト「広義キク属」運営委員会委員(平成15年度～)	広島大学
中田政司	植物地理・分類学会編集委員(平成11年度～)	植物地理・分類学会
中田政司	染色体学会評議員・編集委員(平成19年度～)	（財）染色体学会
山下寿之	立山ルート緑化研究委員会専門委員	立山黒部貫光株式会社
山下寿之	富山県温暖化調査研究会	環境科学センター
神戸敏成	植物多様性保全委員	（社）日本植物園協会
志内利明	日本植物園協会データベース委員(平成20年度～)	（社）日本植物園協会

(5) 研修生等の受け入れ

① 平成19年度博物館実習生

期間	氏名	所属
20.8.1～12	櫛淵みちる	富山大学理学部生物圏環境科学科
20.8.5～16	高橋森生	富山大学理学部地球科学科
20.8.22～9.1	中西真澄	富山大学理学部地球科学科

② 平成19年度教員研修受講者

期間	氏名	所属
20.8.6～8	渡部祐理	富山第一高等学校(6年次研修)
	林 千智	龍谷富山高校(6年次研修)
20.8.2～4	菅原 俊	鶴坂小学校(6年次研修)

③ 平成19年度「社会に学ぶ14才の挑戦」受入

期間	氏名	所属	期間	氏名	所属
20.7.7～11	松原克也、瀧本侑太郎	富山市立速星中学校	20.9.29～10.3	目附瑠璃奈、花木 悠	富山市立西部中学校
20.9.29～10.3	小川紗希、中村彩乃	富山市立城山中学校			

④ 中学生の就業体験の受入

期間	所属	人数	内容
20.11.11～13	富山県立ふるさと養護学校	1名	植物栽培管理の補助等

⑤ 高校生の就業体験の受入

期間	所属	人数	内容
20.8.4～6 20.8.25～26	富山県立中央農業高校	3名	植物組織培養の研修

⑥ 富山市適応障害児指導 植物の栽培指導など、植物園内にて年間40回実施

4 植物公園ネットワークの中核施設としてのセンター的業務

業務	実施内容
連絡会議事務局業務	運営会議2回実施(6月、2月)
スタンプラリーの実施	ネットワークスタンプラリーの実施、343人達成
ホームページの運営	スタンプラリーの実施を告知
植物園間の協力	2件の講師派遣、ボタニカルアート展の開催(頼成の森林科学館)

5 国内外の植物園との交流に関する業務

(1) (社)植物園協会との連携

開催日	実施内容	備考
20.5.28～30	第42回大会・総会への参加	内村園長：評議員、研究発表委員会委員
20.8.28	植物多様性保全委員会・植物多様性保全拠点園連絡会議 ワークショップ「植物園と市民で進める植物多様性保全」への参加	神戸主任研究員：植物多様性保全委員会委員
20.9.18～19	第26回国公立植物園運営会議への参加	
20.10.7～8	第1回保全研修会の実施 県外11名、友の会9名	神戸主任研究員：植物多様性保全委員会委員
20.10.18～19	第1回技術者講習会への参加	
20.12.15	第3回植物多様性保全委員会への参加	神戸主任研究員：植物多様性保全委員会委員
20.12.22	植物データベース委員会への参加	志内主任：植物データベース委員会委員
21.1.31	平成20年度環境NGOとの市民の集い 関東ブロック「環境NGO？」への参加	神戸主任研究員：植物多様性保全委員会委員
21.2.18	講演会「ふるさとの絶滅危惧植物の保全に向けて—水辺の植物—」での講演	
その他活動	植物種多様性保全拠点園ネットワークへの参加 植物園における保有植物の調査の実施 ワシントン条約放棄植物の管理	

(2) 国内外植物園との交流

期間	実施内容
20.10.23～20.12.4 21.2.17～21.3.24	共同研究のための昆明植物研究所研究員（2名）受け入れ
21.2.2～21.3.12	共同研究のための昆明植物研究所への職員（2名）派遣
20.1.1～20.12.31	国内外の植物園との種子交換を実施

V 友の会・ボランティアの活動

1 事業

(1) 会員

会員数（平成21年3月末日時点）		
事務局	一般会員	971名
	賛助会員	28名
	特別会員	3名
友の会部会	植物画部会	91名
	きのこ部会	89名
	植物誌部会	41名
	ボランティア部会	59名

(2) 講習会・講演会

催事名	開催日	場所	内容	参加者数
種苗交換会	①4/20	実習室	会員が持ち寄った植物の交換を行った。	①16
	②6/29			②19
	③11/30			③8
栽培講習会	6/29	実習室	クレマチスの栽培講習会を行った。 講師：越野淳一氏	19
植物画講習会	9/20、21	ドリアスホール	植物画の制作 講師：豊田路子氏	31
植物多様性保全技術研修会	10/8	県民福祉公園ねいの里		10
中央植物園客員研究員講義	①11/11	研修室	客員研究員による講義を行った。 講師：桐野秋豊氏、小島 覚氏	
	②11/25、26			
クリスマスリース作り	12/7	ドリアスホール	フジづる、マツボックリなどを材料にクリスマスリースをつくり、サンライトホールに展示した。 講師：増山たか子氏	11
つどい	3/15	研修室	講演会とオークションを行った。	60

(3) 植物観察会

催事名	開催日	場所	内容	参加者数
友の会ツアー	7/29、30	草津水生植物園 日本新薬薬用植物園	各施設の見学を行った。	30
野外観察会	10/4	黒部川水域	水草の観察を行った。	3

(4) その他

催事名	開催日	場所	内容	参加者数
第16回理事会	4/30	書面		—
第17回理事会	3/15	研修室	20年度の活動報告や21年度の活動計画、予算案について協議した。	15

2 部会の活動

(1) 植物画部会

催事名	開催日	場所	内容	参加者数
例会	①4/13 ⑦11/9 ②5/11 ⑧12/14 ③6/8 ⑨1/11 ④7/13 ⑩2/8 ⑤8/10 ⑪3/22 ⑥10/12	研修室	植物画の制作	①29 ⑦23 ②13 ⑧31 ③26 ⑨28 ④28 ⑩35 ⑤20 ⑪20 ⑥23
ボタニカルアール展	①6/6～25 ②10/11～13 ③9/20～2/4 ④3/11～31	①頼成の森森林科学館 ②黒部市国際センター(コラーレ) ③富山市立速星小学校 ④富山市立速星小学校	植物画の展示	—

(2) きのこ部会

催事名	開催日	場所	内容	参加者数
観察会	①7/20 ②9/7 ③9/28 ④10/5 ⑤11/2	①県森林研究所樹木園 ②南砺市 ③上市町 ④富山市有峰 ⑤砺波市頼成	観察会	①20 ②23 ③23 ④23 ⑤47
顕微鏡講座	①6/15、22	実習室	顕微鏡を用いたきのこの観察	14
スライド学集会	1/24	研修室	スライド上映によるきのこの学習	24
北陸きのこ会3 県交流会	7/5～6	石川県金沢市	北陸3県合同のきのこ観察会	13
きのこ染講習会	2/15	実習室	きのこを用いた染めの講習	11
講演会	5/10	研修室	きのこの絵の描き方や北陸のきのこの特徴などについて講演会を行った。 講師：池田良幸氏	17
定点観察	①4/5 ⑦10/4 ②5/3 ⑧11/1 ③6/7 ⑨12/6 ④7/12 ⑩1/10 ⑤8/2 ⑪2/7 ⑥9/6 ⑫3/7	射水市薬勝池		⑥14 ①12 ⑦8 ②12 ⑧10 ③9 ⑨10 ④10 ⑩9 ⑤9 ⑪9 ⑫10

(3) 植物誌部会

催事名	開催日	場所	内容	参加者数
調査会	①4/27	①滑川市	植物調査会	①17
	②5/25	②富山市猪谷		②7
	③6/22	③南砺市桜ヶ池		③11
	④9/28	④小矢部市久利須川		④11
	⑤10/26	⑤魚津市布施川		⑤8
	⑥3/22	⑥富山市天湖森		⑥9
打合せ	7/27	ドリアスホール	部会活動の打合せ	8
同定会	①8/24	実習室	植物同定	①12
	②11/23			②10
	③12/21			③13
	④1/25			④8
	⑤2/22			⑤8
標本整理会	①9/6	実習室	標本整理	①5
	②10/4			②8
	③11/1			③6
	④12/6			④8
	⑤2/7			⑤8
	⑥3/7			⑥8

(4) ボランティア部会

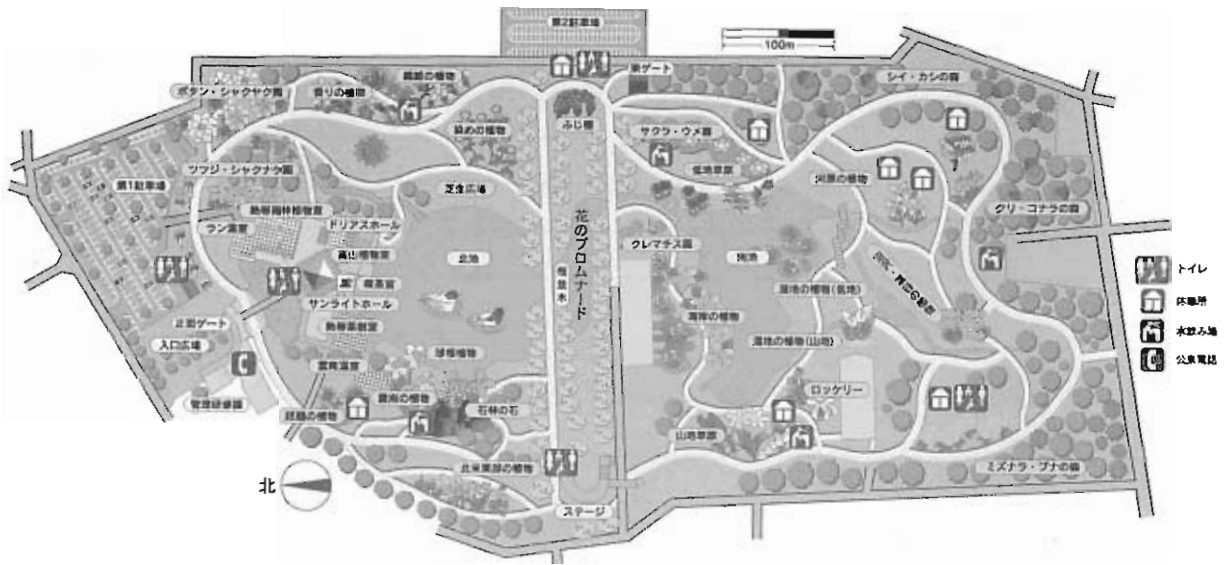
区分	活動内容	補助のべ回数	補助のべ人数
案内所 (インフォメーション)	入園者への案内等	73	112
教育普及事業の補助	植物園オリエンテーリング	17	60
	日曜植物案内	14	25
	夜間開園「ソメイヨシノと夜桜観賞」	1	3
	夜間開園「ゲッカビジン鑑賞」	2	15
	夜間開園「お盆の閉演時間延長」	1	5
	夜間開園「サマーナイトフェスタ」	2	12
	「植物園クラブ」	43	166
	夜間開園「クリスマスフェスタ」	2	10
	花と緑のフェスティバル	3	31
調査研究事業の補助	標本添付作業	128	259
植物の栽培管理の補助	屋外展示園	12	16
	クレマチス園	18	19
	栽培温室	9	9
植物写真記録		48	48
発送物袋詰め作業		4	24
合計		377	814

VI 参考資料

1 施設概要

施設	着工～完成 (年月)	面積 (㎡)	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード、観察用園路 5,400 ㎡
管理研修棟	4.8～6.3	1,139	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、標本室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、車庫、機械室他
作業エネルギー棟	4.8～5.1	171	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室 (5 棟)	第 1 期 4.8～5.1 第 2 期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	332 台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150 台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ 393	5 棟
サンライトホール	5.8～6.8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ
エネルギー棟	5.8～6.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室 (5 棟)	第 1 期 5.8～7.1 第 2 期 6.7～7.6 第 3 期 7.3～8.3 第 4 期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室 890 熱帯果樹室 587 高山温室 300 雲南温室 (温) 313 (温冷) 223	
正面ゲート	7.3～7.9	171	
雲南コーナー	7.9～8.3	1,500	石林の石 500 t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.9～8.3		
東ゲート	7.12～8.3	27	
ドリアスホール	14.9～15.3	155	休憩室、図書閲覧

2 施設平面図



植物園平面図



サンライイトホール・温室平面図

3 整備事業費

単位：百万円

区分	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計	H10~11	H14	小計	計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297				297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092				2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666				666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828	*204	**40	244	4,072
備品			2	92	13		74	181				181
用地取得		977	959	32			74	2,039				2,039
雲南植物					10	3	10	23				23
石林の石						11	105	116				116
計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242	204	40	244	9,486

*雲南温室、**多目的小ホール（ドリアスホール）

4 利用統計（※平成17年4月1日より高校生以下は入園料無料）

(1) 平成20年度月別入園者数

月	有料						無料							
	個人	団体	友の会	特別開園		合計	減免		小中学生		乳幼児	その他	無料合計	
				個人	団体		一般 大学	引率	高校生	大人			小人	
4	5,808	472	491	—	—	6,771	22,744	474	2,323	3,067	240	23,458	5,390	
5	4,026	410	365	—	—	4,801	238	790	1,063	1,253	293	1,321	2,316	
6	1,924	621	269	—	—	2,814	161	549	648	823	244	954	1,471	
7	900	314	187	1,450	170	3,021	83	164	479	320	253	500	799	
8	1,507	186	184	273	29	2,179	111	398	1,108	493	156	665	1,601	
9	1,492	83	303	—	—	1,878	125	188	411	368	407	720	779	
10	1,176	431	200	—	—	1,807	129	498	1,119	927	176	803	2,046	
11	1,615	399	227	—	—	2,241	145	360	608	463	161	666	1,071	
12	613	25	150	31	6	825	50	157	271	463	99	306	734	
1	580	91	167	—	—	838	38	107	208	425	18	163	633	
2	4,232	76	424	—	—	4,732	212	223	224	377	772	1,207	601	
3	5,244	176	529	—	—	5,949	331	295	382	463	479	1,105	845	
計	29,117	3,284	3,496	1,754	205	37,856	24,367	4,203	8,844	9,442	3,298	31,868	18,286	

(2) 全面開園（平成8年）後の入園数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
14	34,311	794	4,440	9,726	38,751	10,520	49,271
15	29,102	501	27,090	14,537	56,192	15,038	71,230
16	31,204	400	24,961	13,867	56,165	14,267	70,432
17	34,672	—	25,316	15,947	59,988	15,947	75,935
18	39,959	—	26,674	17,713	66,633	17,713	84,346
19	38,465	—	41,556	20,235	80,021	20,235	100,256
20	37,856	—	31,868	18,286	69,724	18,286	88,010
計	611,534	29,494	209,421	179,480	820,955	208,974	1,029,924

(3) 全面開園（平成8年）後の研修室等利用団体（人数）

年度	研修室			実習室	ドリアスホール	総計
	第1	第2	第1+第2	(研修室併用含む)		
8	31 (1,064)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	—	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	—	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	—	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	—	58 (1,753)
12	26 (739)	5 (80)	7 (319)	5 (76)	—	41 (1,192)
13	23 (620)	11 (143)	12 (630)	5 (114)	—	48 (1,507)
14	10 (179)	4 (43)	7 (337)	1 (9)	—	22 (568)
15	3 (79)	7 (82)	1 (78)	1 (70)	69 (4,103)	81 (4,412)
16	10 (206)	4 (76)	1 (70)	1 (15)	118 (5,094)	134 (5,461)
17	5 (76)	10 (126)	5 (271)	0	89 (3,825)	109 (4,298)
18	16 (509)	13 (162)	3 (94)	5 (171)	121 (5,920)	158 (6,856)
19	23 (670)	22 (295)	6 (349)	6 (235)	121 (5,228)	178 (6,777)
20	73 (757)	71 (266)	4 (221)	28 (224)	114 (5,332)	290 (6,800)

5 自主事業の実施状況

項目	実施内容	実施結果
電気自動車案内	電気自動車バス運行時の解説サービスを実施した。	3,681人
苗木の販売	園芸店等では入手できない苗を販売した。	154本

VII 栽培記録

1 平成 20 年度に初めて開花した植物

(1) ユッカ・トンプソニアナ *Yucca thompsoniana* Trel. リュウゼツラン科

ユッカ *Yucca* はリュウゼツラン科 (ユリ科に分類される場合もある) の植物で、アメリカ南部からメキシコまで約 40 種が分布している。その中でアツバキミガヨラン *Yucca gloriosa*、イトラン *Yucca filamentosa* などは日本でも関東以西でよく栽培されている。

今回咲いたユッカ・トンプソニアナは北米テキサス州西部原産のユッカの仲間で、日本ではあまり栽培されていない。中央植物園では植物園ボランティアの宮川敏氏が 1994 年に種子をまいたものを導入し、2003 年に屋外の入園口付近へ地植えし、発芽から 14 年で平成 20 年 6 月に初めて開花した。花は花序の下のほうから咲き始め、1 週間ほど楽しむことができた。開花についてマスコミに情報提供したところ、多くの地元テレビや新聞社に取り上げられた。

開花終了後に花茎の付け根の部分から 2 方向に葉が伸び始め、「花の後に枝分かれ」したことが確認された (企画情報課 吉田めぐみ)。



(2) ゴバンノアシ *Barringtonia asiatica* (L.) Kurz サガリバナ科

展示温室の熱帯雨林植物室ではゴバンノアシの花が、平成 20 年 8 月 20 日に開花した。平成 6 年 11 月に温室内に植えてから 14 年目の初開花だった。花は多数の雄蕊があり、白い花びらから長く突き出して目立ち、雄蕊の先は紅色を帯びていた。雌蕊は、雄蕊の中央にあった。夜咲きの花だったため、お昼ごろにはしぼんで落ちた。

ゴバンノアシの名前は果実が基盤の脚の部分に似ている変わった形をしているところから名づけられているが、残念ながら果実はつかなかった (企画情報課 吉田めぐみ)。



富山県中央植物園事業概要 第11号 (平成20年度)

平成21年9月30日発行

編集・発行：富山県中央植物園 (財団法人花と緑の銀行)

〒939-2713 富山県富山市婦中町上樽田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

印刷：株式会社モトヨシ美術印刷

